

高齢飼い主の支援の必要性と 地域での支援体制の確立

～社会福祉部局との連携の試み～

東部健康福祉センター

衛生薬務課 露木沙耶 田中寿彦 泊明季 神崎信織 野田旬哉 田中恵美
福祉課 仲泊朋克

沼津市

環境政策課 重野洋孝 河村優希
社会福祉課

長寿福祉課基本型地域包括支援センター 古川直哉

要旨①

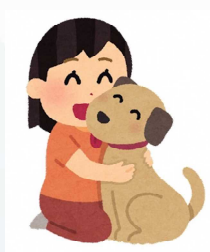
平成24年動物の愛護及び管理に関する法律改正

- ・ 飼い主責任の徹底
- ・ 適正な繁殖に関わる措置の努力義務



所有者から求められる場合には
その引取りを拒否できる事由が明記された

終生飼養の指導



飼い主による譲渡の支援



要旨②

関連した相談が増加し、対応に苦慮している

① 飼い主の生活状況

ペットがいるから入所や入院できない

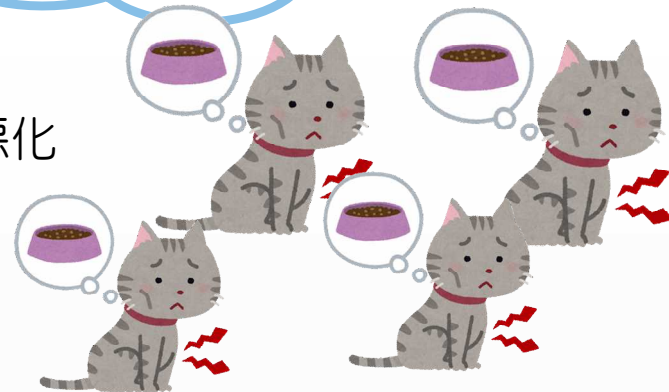


急な体調不良



② 動物の状態

世話が十分にできないことによるペットの健康状況悪化



③ 周辺的生活環境

糞尿の処理が十分でなく、近隣的生活環境悪化

地域からの孤立、生活環境悪化という福祉や地域での
継続的支援を必要とする事例も少なくない

社会福祉 社会福祉部局と連携をした対策を試みた を試みた

方法（社会福祉部局へのアプローチ）

- R3.5 譲渡ボランティアと話し合い
（支援の早期対応の必要性の確認）
- R3.9 関係各の社会福祉部局に相談
（保健所福祉担当・沼津市動物愛護担当・沼津市福祉部局担当）

相互理解のために、各関係部署と話し合いを重ねた

高齢飼い主へのアンケートの実施を決めた

- ・アンケート内容の検討
- ・アンケート実施方法の検討

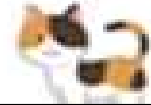
R3.10～12 ケアマネージャーに協力を依頼したアンケートの実施

R4.9～11 民生委員に協力を依頼したアンケートの実施

方法 (アンケートの作成①)



高齢者のペットに関するアンケート協力依頼



表面は

協力していただく社会福祉関係者の方へのお願いや趣旨を記載
依頼者は、市と保健所の連名とした。

裏面は

高齢飼主へのアンケートのペットについてのアンケート

問1 アンケートに記入していただく方を教えてください。

- ① 飼い主本人
代筆の場合
- ② 飼い主の家族や親戚（関係
- ③ 民生委員
- ④ ケアマネジャー・包括職員
- ⑤ その他（

個人情報を含むことから、回答者は本人とし、必要な場合は代筆をすることとした。

方法 (アンケートの作成②)

問 4 緊急時に協力をしてくれる方（ボランティア等）の支援を必要としていますか？

- ① いざという時にために協力を依頼したい
 - ㊦行政（市役所等）から連絡がもらいたい。
 - ㊧ボランティアから直接連絡がもらいたい。
 - ㊨自分から連絡する。
- ② 支援を必要としていない。
（理由

支援のための連絡の窓口を、行政以外にボランティアを選択できるようにした

「問 4」で連絡が欲しい方は、差し支えなければ以下をご記入ください。
後日、ご連絡させていただきます。

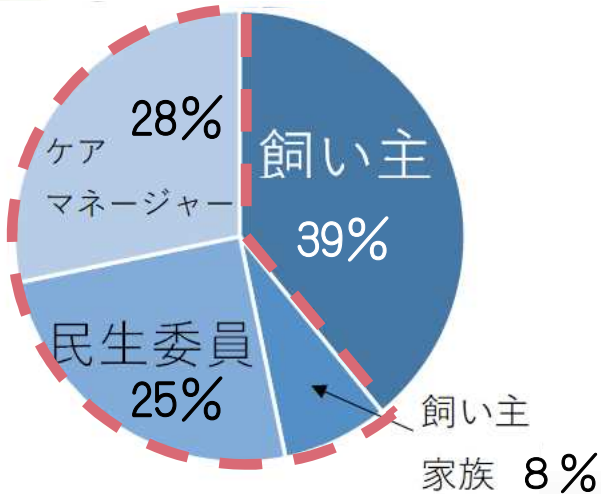
（飼い主氏名
（飼い主住所 沼津市
（飼い主電話番号

状況の把握を優先し、記載しやすいよう、無記名回答を可能とした

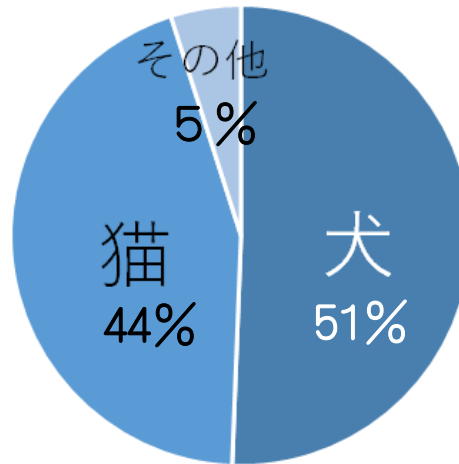
アンケート結果①

(n=87 ケアマネージャー46件 民生委員41件)

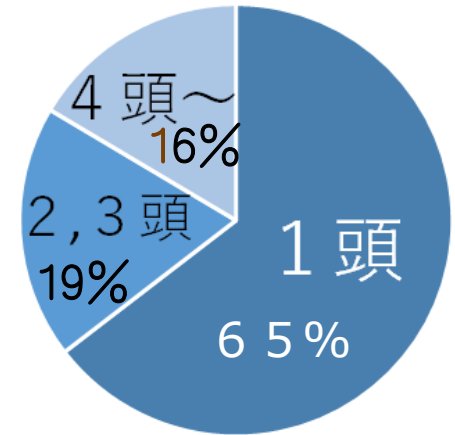
①アンケート記入者



②飼育動物の種類



③飼育頭数

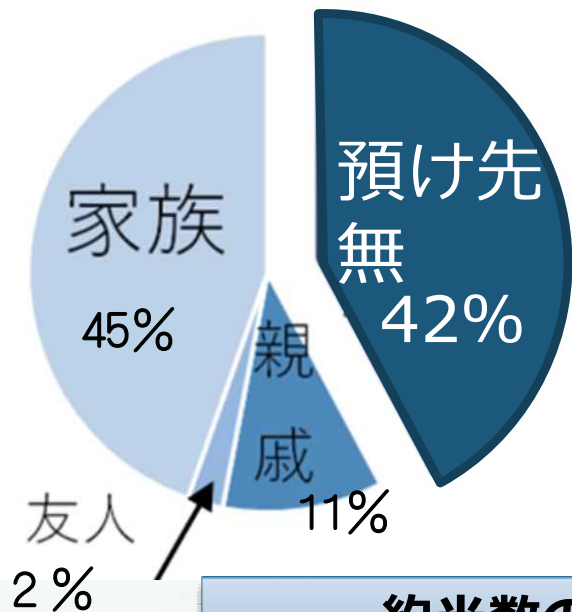


アンケートの記入者は約60%が代筆であり
情報発信にも身近な人の支援が必要であることが示唆された

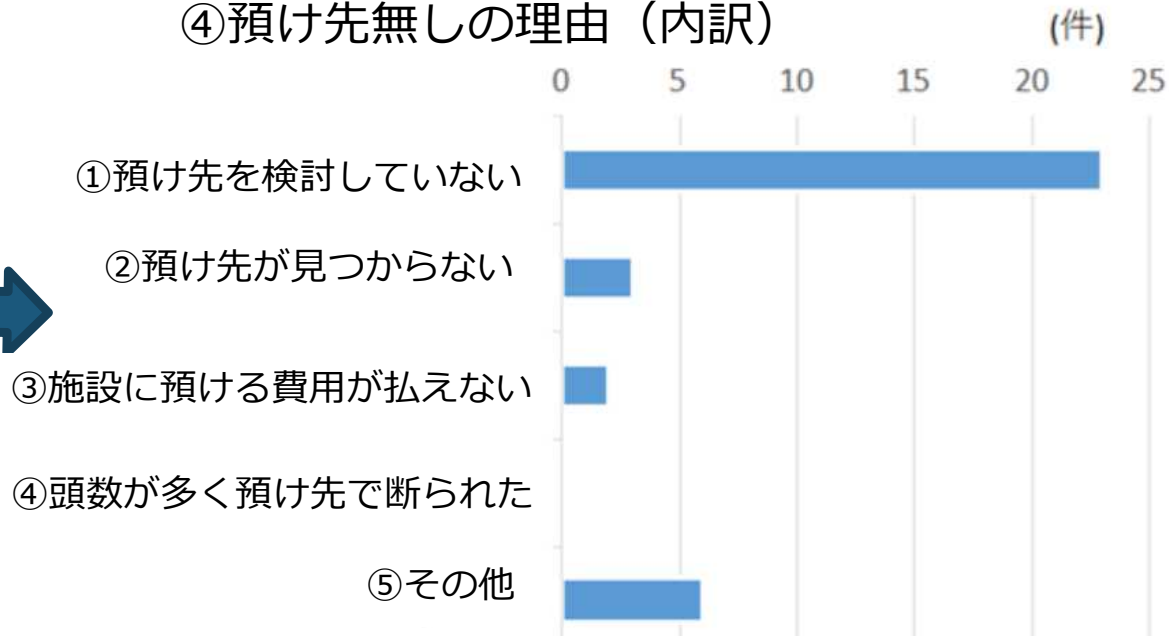
アンケート結果②

(n=87 ケアマネージャー46件 民生委員41件)

④ペットの預け先



④預け先無しの理由 (内訳)

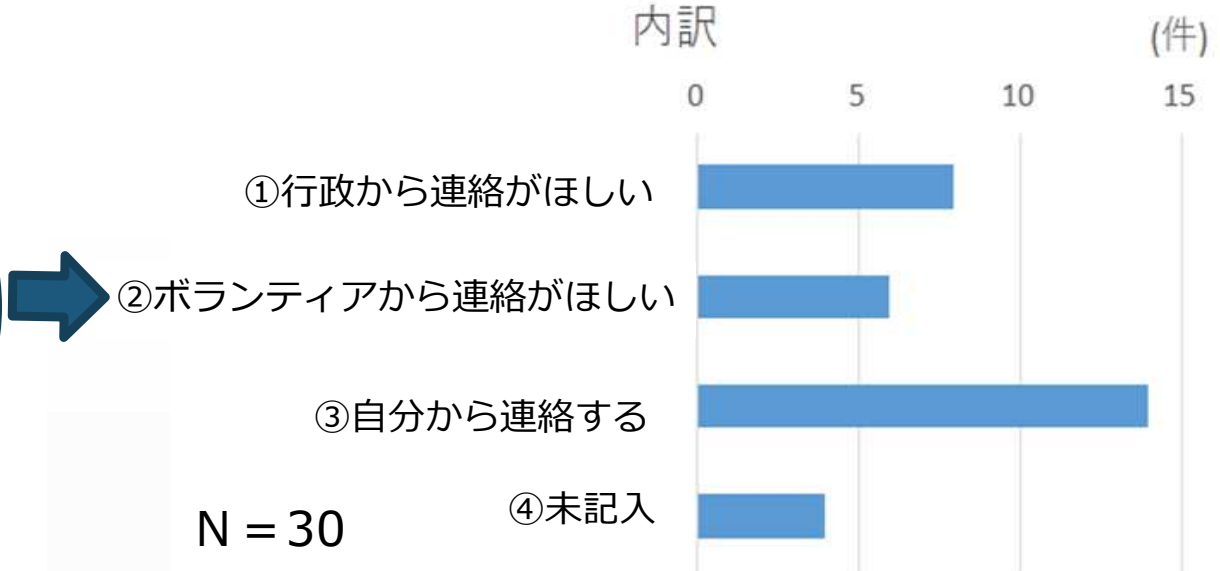
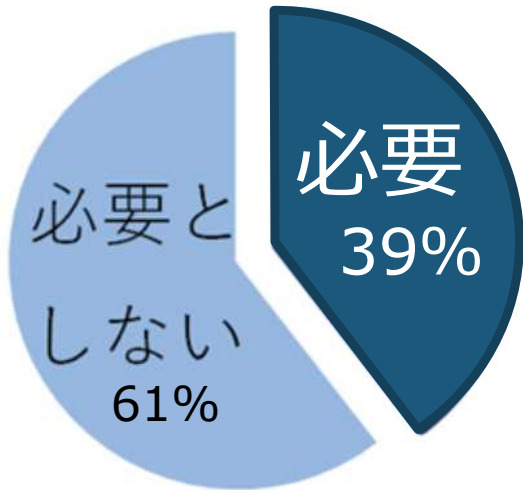


**約半数の預け先がなく、その理由の大半は
預け先の検討をしていない**

アンケート結果③

(n=87 ケアマネージャー46件 民生委員41件)

⑤支援を必要とするか



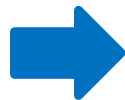
支援を必要とする回答が40%であり、そのうち、ボランティアからの支援を希望する回答もあった。

地域の「見守り動物ボランティア」を育成

動物ボランティアの皆様へ

当所
してア
その
いた

ボランティアの支援を
希望する回答が複数あった



動物ボランティアへの
アンケートを作成

将来的には、地域猫と同様、このような問題も地域と行政が協働して解決していく課題となると考えており、皆様のお力をお借りしたいと考えています。

ボランティアの皆様にとどのようなことをお願いできるか、ご意見や回答いただけるようお願いいたします。



可能な活動を選択

質問1 どのような、活動のお手伝いが出来ますか？

支援が欲しいの回答した方対象

①行政につなぐボランティア

お話を聞いて、行政に報告→行政から必要なボランティアに繋げてもらう。

②見守りボランティア

現在は問題がない方に、定期的に連絡してペットの相談を聞きながら、様子を見守る
(可能な活動地域)

③繁殖防止ボランティア

支援が欲しいと回答した方で、繁殖防止を希望している方のお手伝い
(可能な動物 犬 猫 その他)

④譲渡ボランティア

支援が欲しいと回答した方で、譲渡を希望している方に、譲渡のお手伝い
※将来的な譲渡も含む
(可能な動物 犬 猫 その他)

⑤その他の活動

自由に記載してください。

地域の
「見守り動物ボランティア」
として長期的な対応を実現

考察

入院したら誰かが保護
してくれるだろう

高齢飼い主



高齢者のペット問題を
どこに相談していいか
分からない

福祉担当課



- ・保健所
- ・市町動物行政担当

問題把握ができず、
対応が遅れてしまう

今後の課題

- ・動物愛護行政への理解を深める
→ **社会福祉部局との情報共有と啓発の協力依頼**
- ・問題の早期発見
→ **高齢飼い主の身近な見守りボランティアの育成**

地域の「見守り動物ボランティア」の役割と支援の枠組み

高齢
飼い主



支援

動物ボランティア

- ・譲渡ボランティア
- ・繁殖制限ボランティア

相談

支援

相談

支援
見守り

民生委員
ケアマネージャー

- ・高齢者の見守り
- ・早期発見のため、本人との良好な関係作り

地域の「見守り動物ボランティア」

- ・地域で支援が必要な人の見守り
- ・早期発見のための情報提供

指導

連携

連携

連携

市役所町役場

- ・動物愛護担当部署
- ・社会福祉担当部署
- ・生活保護担当部署

コーディネート

情報共有

保健所

- ・市や町との連携
- ・動物ボランティアとの連携・育成

身近な見守りが必要である高齢飼い主のための
地域の関係機関と連携した支援の枠組みを構築